

ニホンジカ影響調査・簡易チェックシート

データのチェック

場所	署名	事務所	林班	小班	<input type="checkbox"/> 民有地
測地系 (※1を参考に選択) <input type="checkbox"/> 日本測地系 <input type="checkbox"/> 世界測地系		北緯(必須)	東経(必須)		
調査日	年	月	日	林相※2	<input type="checkbox"/> 針広混交林 <input type="checkbox"/> 針葉樹林 <input type="checkbox"/> 広葉樹林
周辺環境	<input type="checkbox"/> 沢と隣接	<input type="checkbox"/> 畑・田と隣接	<input type="checkbox"/> 牧草地と隣接	<input type="checkbox"/> 左記以外	<input type="checkbox"/> 関係者からの情報である ※3

該当する□にチェック を入れる。チェック漏れのないよう確認すること。

※1【日本測地系】 施業実施計画図、国有林GIS(初期設定)、PDA(ArcPad) 【世界測地系 WGS84】 GoogleEarth

※2 針葉樹林・広葉樹林とは、それぞれの針葉樹・広葉樹の材積歩合が75%を指し、それ以外を針広混交林とする。

※3 関係者(請負事業者、猟友会、国有林入林者等)からの目撃情報を聞いた場合も記入する。

※4 樹皮剥ぎ等の「新しい」は、直近の積雪期の樹皮剥ぎ等とする(暗く変色していないもの)。樹皮剥ぎ等比率は本数比率とし、目測でよい。

※5 植栽木の痕跡調査本数は、下刈期のは50本を目安とするが、それ以上の林齢の箇所は適宜減らしてよい。

■A. ニホンジカの確認について (頭数)


	成獣	幼獣	不明	<input type="checkbox"/> 以前ここで見た
A1. シカを見た、または声を聞いた。	♂			<input type="checkbox"/> 見ていない
	♀			
	不明			

見た 声を聞いた

A2. シカの痕跡があったか。 死体・骨 角 痕跡はない

足跡・シ道(ニホンジカ) 足跡・シ道(シカ・カモシカ不明) 糞(ニホンジカ) 糞(シカ・カモシカ不明)

■B. 食痕について(明らかにカモシカの食痕とわかる場合は除く)

B1. 樹皮はぎがあるか。 ※4 見られる (○ 新しい ○ 古い) 見られない 


B2. 下枝に食痕があるか。 見られる (○ 新しい ○ 古い) 見られない 傷があるが食痕かは不明

B3. 草本・灌木に食痕があるか。 見られる (○ 新しい ○ 古い) 見られない 傷があるが食痕かは不明 植生がない

B4. ササに食痕があるか。 見られる (○ 新しい ○ 古い) 見られない 傷があるが食痕かは不明 ササがない

■C. 周辺植生について

C1. 樹木(2m以上)の枯死 立ち枯れがある 見られない


C2. 下枝(2m以下) 少ない(目安:5本/100m2以下) 多い 

C3. 小径木や灌木(2m未満) 少ない(目安:5本/100m2以下) 多い

C4. 草本・ササの量 豊富 疎生(原因:○シカ ○日照不足) ほとんどない(原因:○シカ ○日照不足)

※ 人工林では次の調査についても実施する。(植栽木50本程度について) ※5

■D. 植栽木の被害について(明らかにカモシカの食痕とわかる場合は除く)

調査本数:	本	植栽樹種名:	植栽年	
D1. 新しい角こすりがみられる	約		本	
D2. 樹皮の食痕が見られる	約		本	
D3. 頂芽の食痕が見られる	約		本	
D4. シカによる幹折れの痕跡が見られる	約		本	

自由記述欄(シカの被食状況や下層植生に関する事で、気がついた点があれば記述する)

.....

.....

.....

.....

.....